

新潟

開催日 / 11月15日
参加者 / 約150名

講師

(株)ユニバーサル
エネルギー研究所
代表取締役社長

金田 武司 氏



テーマ 「世界の動向から日本のエネルギー問題を考える」

- ペโตรダラーの終焉^{しゅうえん}、疫病のまん延、戦争など、歴史の転換期と言っていいほどのことが世界中で起きている
- 日本の歴史はエネルギーの歴史そのもの。石炭、水力、石油、原子力とエネルギー問題に四苦八苦してこまでたどり着いた
- 他国とエネルギーインフラが一切つながっていないという日本の特殊性、たどってきた歴史を踏まえ政策を考えるべき

2024年度 エネルギー講演会について

青森市・新潟市・仙台市で開催



エネルギー講演会 in 仙台

東北エネルギー懇談会では、地域の皆さまに、エネルギー・環境問題を巡るさまざまな情勢を正しく理解し考えていただくことを目的に、エネルギー関連施設が数多く集積する青森県、宮城県、新潟県においてエネルギー講演会を開催しています。
講演概要については、地元の新聞に採録記事として掲載し、広く県民の皆さまにもお知らせしております。

仙台

開催日 / 11月28日
参加者 / 約160名

講師

(一財)日本エネルギー
経済研究所
資源・燃料・エネルギー
安全保障ユニット
研究理事

久谷 一郎 氏



テーマ 「日本のエネルギー問題 —化石燃料の安定供給とエネルギー転換の課題—」

- 日本のエネルギーのジレンマ… 短中期では化石燃料の安定供給確保や投資が必要、中長期ではそれらを削減しなければならない
- CO₂排出目標達成は厳しく、石油危機や東日本大震災のときを超える省エネが求められている
- エネルギー転換に向けては、一人ひとりの行動が不可欠。日本国民のやや消極的な意識を変えるための啓発や教育が必要

青森

開催日 / 10月22日
参加者 / 約140名

講師

読売新聞東京本社
編集委員

倉貫 浩一 氏



テーマ 「エネルギーを巡る動向と地域経済の将来展望」

- 半導体工場の建設やデータセンター需要に伴い、国内の電力需要が増加していくことが確実視されている
- 脱炭素電源の供給力を抜本的に強化しなければ、電力の安定供給の見通しは不透明になる
- 脱炭素電源をフックにした企業誘致をどう実現していくかが青森県にとって重要